

未利用材を活用した天板の特性について

■ 未利用材について

植林された木を木材に育てるには成長途中で枝打ちや間伐などの作業を行います。これにより、まっすぐで節が少なく、太く、大きな木材となります。

これらの作業の際に発生した未使用の不要木や枝等を未利用材と言います。木材同様に、未利用材も木が育った環境、整備時期、樹種、部位により違った色合いを持ち合わせています。



・回収された枝葉



・間伐作業

■ 未利用材天板の特性について

未利用材天板は「余すことなく素材として使用したい」との考えから、木質製品の材料としてほとんど使用されなかった樹皮や葉もチップにした後ブレンドして使用しています。

そのため、出来上がった天板の未利用材部分は一枚一枚個性があり、色や表情が異なります。



・粉碎後のチップ

上：皮むき後のチップ（幹、枝、梢等）

下：樹皮や葉のチップ

* 天板未利用材部分ごとの異なる表情の例



・天板エッジ部の色の濃淡



・樹皮や葉等配合された材料の違いによりそれぞれ見た目が異なります

■ お取り扱いにあたり

未利用材天板は自然由来の素材を使用しているため、環境が適していない場合には反りや変色、褪色等が発生する恐れがあります。また、エッジ部分に衝撃を加えますと打痕等が付く可能性があります。

取り扱いにあたっては下記にご注意をいただき、大切にご使用いただけますようお願い申し上げます。

* 設置の際のお願い

- 屋内でのご使用をお願いいたします。屋外や水のかかるところ等では、反り・カビの発生など故障を引き起こす原因となりますので、使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所は、変形や日焼けによる変色の原因になりますので避けてください。窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。
- 高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因になりますので避けてください。
・特に急激な温度、湿度の変化は反りが発生する恐れがあります。
- 室内温度 20℃～28℃、室内湿度 50%～60%の使用環境を推奨いたします。
- ストープ・エアコンなどの熱や風が直接当たる場所は、変形や変色の原因になりますので避けてください。

* 適切な換気の励行に関するお願い

- 購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通風を十分行うようにしてください。
- 室内が著しく高温多湿となる場合（温度 28℃、相対湿度 60%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

*** 移染についての注意事項**

- 天板四方の縁は衝撃強度アップのためにコーティングを施していますが、濡れた繊維で擦ったり拭いたりした場合色移りすることがあります。
- 天板裏面はコーティングを施しておりません。通常ご使用いただく場合、あまり触れるところではありませんが、擦れたり拭いたりした場合繊維等に色移りすることがあります。